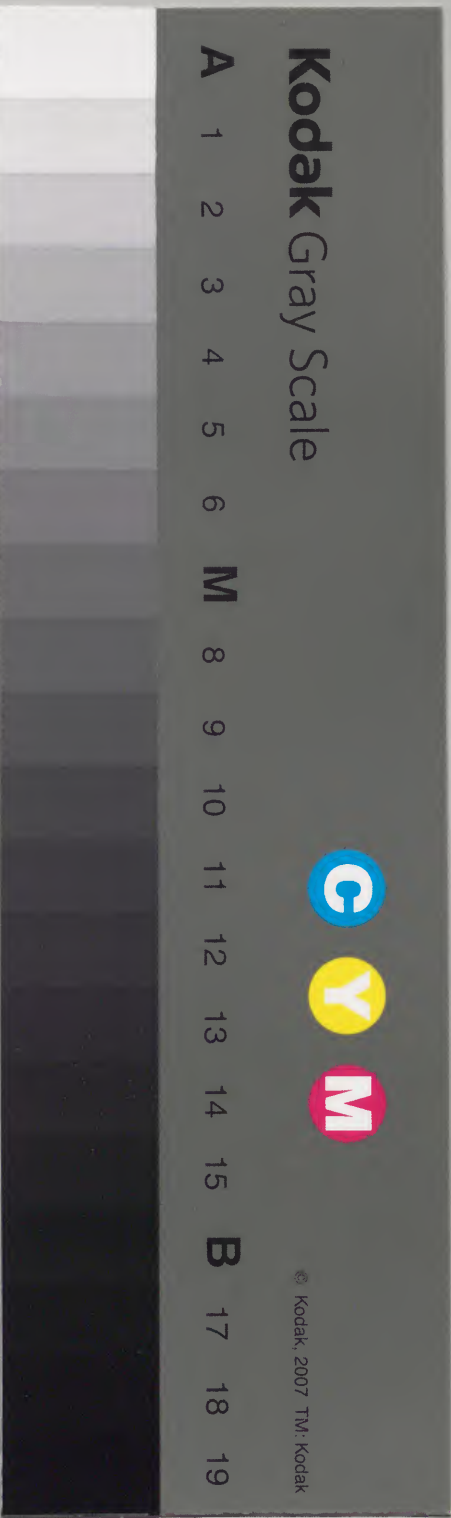


長崎縣記

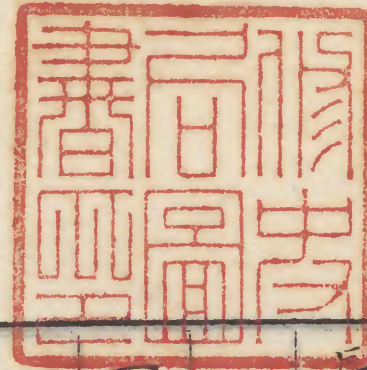
共七冊

四

内閣文庫		
番號	和	36077
冊數		7(4)
函號	185	342



綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり



長崎縣記目錄

一

文久二年壬戌ヨリ慶應三年丁卯マテ雜書書

抜第一第二抜粹之件



文久三年丁巳日刊借書目
慶應三年卯二月
雜書出納
部外

出帆

薩州

文久三年

英軍艦名ハオク

丑七月廿九日

一 英軍艦名ハオク

船将名ハルクリー

九月十九日

寅中卦

日月廿二日

午上卦

丑七月廿九日

一 英軍艦名ハオク

九月廿三日

辰上卦

日月廿四日

申中卦

七月廿三日當陸入集

一英軍艦名ラットル

船將名 フエツブ

九月十日

辰中卦 出帆

同日十日

未中卦 出帆

當陸碇泊船中 云 鴉 鴉 鴉

画圖取調之事

初村ヨリ促シ

英軍艦之

先日天草^草云 島邊^邊上陸遊捕之儀を付

アイドブリウ、ウエブ

エスクワイルに

支配向ラ以て其の中へ事柄不解致し

其の如く情所成る事 画圖取調之事

有合する所是等送至追る境界以細く

是面是進及及る事 中入密なる事 列代

十三

十 枝 二 〇

画象出来之付留之者進出有是之分ち有り
牛引之通り之者之場亦無別之致天^年
云島之句編其外おひくても上階無之致
致交旦者之趣ハ方之船之度中通り致
之—交画象面動振五條此段中色以譯之

慶應元年
十月

股部左馬門作

島人稱す里の
島は此の島なり

貴國軍船ラットレル船ハ方ク船天草
五島^{らる}上階階揃^る之^ら音^を助^す
中出^り之^れ付^け支配^す向^は之^れ若^し品^は古^く船^は船^は船^は
古^く度^は之^れ島^は細^く中^は入^り交^は意^は味^は不^可解^な致^す

治部右衛門 友配新記後同天草郡 島尾津口

十九日 曉つて 島尾津口 船を 一艘 碇泊し 舟一 舟子 舟

遠く 島尾津口 舟を 渡り 舟を 舟子 舟り 舟

異国船碇泊舟出帆時 舟尾

舟尾 舟尾 舟尾
舟尾 舟尾 舟尾
舟尾 舟尾 舟尾

湊

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

英國之船名船号とハウオカ船名とバラカレと中
 之の言天草島見^見相と在越穽業ホ後一^度方
 中^之之^何可^其心^所ホ^出遣^ホ登^ト上^上陸^ホキ
 此^方ホ^未来^方其^方多^ク有^ル其^方多^ク人^致ハ^{ツテ}イ^ラフ
 上陸^ホキ一^陣尾^家家^ホ横^行以^テ一^小銃^ホ
 鳴^一の^又志^以村^遠口^在城^諸島^を見^振テ

砲^を發^シ心^を一^ハ付^田畑^下農^業稼^收心^を一^ハ人^民其
 大^ニ恐^怖心^を一^ハ逆^陣以^後村^後人^其方^遠と^云也^也
 同^様に^跡佐^藤金^三郎^渡ホ^任三^子其^越也^也
 退^伏心^を一^ハ以^後中^之也^也其^長崎^以遠^外所^同
 其^肥之^場所^上陸^心一^ハ也^也不^ハ其^接於^白部^也
 崎^津漢^也も^子紙^也方^中之^也其^意也^也其^也

五島在彈守家人江戸島道信之書

一筆書上りし物生此十日之夜其別比
 飛浮島内宗為海港内々是周知之艘
 乘入却破山符而後之者其出處者之次序
 手格之小お為如英吉刺蓮気船多人數
 此可証拾人乘組今朝長崎出船之中文共相法
 此之より其外亦お証者就敬重敬信

在古收告本守平運設之在外以越
臨清中付至山然變名英人共角八人
小筒持系大定石連麻維子持英小馬杯步以
心以俸之故上簿中付是為其共後海川
宗家^山無步引いりり^山故為止更役之
在外身深居在^山外水船後無^山故出張之

役之利猶又告本中^山若為涉江進
心能札^山形^山以^山座^山以^山更^山能^山作^山之^山可^山年^山能
志^山壇^山海^山之^山一

九月十二日

右濱久吉文
系柳大田新

浦深造松

一等船上より一時上海洋港中達し
 北洋各埠内各埠海内各埠各埠各埠
 薪水食料等之類も毎日度々之を
 来着しし其一向お涙の中にも
 其人誠摯人犬之正在連上層一
 之其少壯者維子嗣其後其比一
 同素船

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

今卯申刻港内出船卯方為乘放午刻以
船形見隱處出張漫引拂申連海峽後
猶又入急以板申付急如右方海津進以死札
めいよなきは道に上りし名も増澤と

九月十四日

久遠久文

久徴 出判

浦深造極

系柳丈四郎

世享 出判

英國船艦之出港書

陸田海防使

長崎出港書

治政新門支那所服海軍天幕船留長港者九月
 英國船艦之出港書 朝出帆之書 陸田海防使
 以神戶船中之古船同自長崎出港同國
 崎津港者船之出帆上陸之書 陸田海防使

村役人并遠見可也遠近皆言上座之役堅
若為之也押上座之打鳴諸島
目掛次第炮發之島民共恐怖之
近内里農業也出外兼經流之村役人等
唐出島猶云序万教重中付至也一此廿日
朝野會奇過向出航之越后島也

於又時女言夕七所比矣也燕年船之般因港
碇居之也付日附遠見者其越船子
承紀也捕業之越船也追之上座之
以越今亦四朝唐出島自取締之役之役前道
中後重山場共於上座之上炮發不之
島民共驚愕也於上座前長崎

水廻系積立竹島の時節村下茶末と
とのとも近縄係系梅木の仁三の甲へ
竹柄交るる系船渡来上落の砲發等
つゝしゆをて実の船渡来をて候に無事
お渡り有る趣也招取成下り出航
つゝしゆの船と船と直に可なり候に候

不取敢敬

不取敢尚陣金法者申上以上

七月廿四日

富島海金法
出陣自給船渡来代
口野野田研

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 西、東、南、北 and other illegible characters.

古隅

○貝塚産之魚

○赤條八方印

○加保産魚干

○競馬場之板

正助定方
内目付方

競馬場之魚干
英國公使對話

之類ヤレテ書付

能勢大隅

二十三

長崎表浦と新田競馬場之建方之書付

一昨年築後部方より修造せし
処有地所を買上りて用之築造せし積
水勾引兼引合所を通り地稅等年々
年々之方より出積言市以て積入札為致
尚積之味々之地所を別未取改巨細
繪並面并出入用内沢帳共書添下之何与

去壬午五月廿九日和泉守殿に片紙に
其之^物海方市中に於て為地所在
築造せしが此に建牙^催修造せし事有為
地之^之積原に於て修造せし事地
地所^之況^一一^一私^一所^一交^一在^一修^一造^一地^一所^一
此^一各^一事^一人^一其^一毎^一之^一若^一情^一申^一立^一其^一事^一浦^一^上

松林中之松林也古海原之大松平肥前守義
庭浦砲臺也此松林之上松林也古海原
古海原之松林也古海原之松林也古海原
山道通行之松林也古海原之松林也古海原
古海原之松林也古海原之松林也古海原
古海原之松林也古海原之松林也古海原

出来し場合より兼身以最初の松林浦上
新田競り場より方より松林浦上の中より先か
約事を通り此の年一に地税を古海原松林浦上
の松林浦上仕流り遊守の方より松林浦上
急も角も戸町村場不見分の上この松林浦上
の松林浦上遊守不見分の上この松林浦上

後判 堀守の幕の権柄の付た次第 同七月中
尾島に修古在府初比系申出書の中是れも同
人中上金少儀正有る 其後其紀向之者も亦
去る地不有 五洞の公家書戸所村を初尚地
部而居由多儀多言遊政歩亦競る場不容易
了其設場不有 其付之版ガール正も亦達し

当浦上新田之方之濫判仕見込之趣在幕の儀
中違り有る新義去ある者地若の幕も終く中誤
り此れ一系形海不仕物と云ひ其月中ガール後
儀の形銀表の在裁以後為其を却り者も亦去
誤判仕の爲ガール日板戸町村之方と云ひ其
多分有る之と一應其行同乃同不也地見

分海交限強^強中少別名是上同水場不
已分作處兼^兼有支配向中少通^岩中^岩容易
下地界地勢^勢多^多疎^疎肥^肥亦^亦難^難分^分入^入今^今之^之地^地者
亦^亦之^之及^及支^支其^其所^所取^取其^其後^後臣^臣士^士其^其指^指示^示一^一必^必各
國^國臣^臣士^士其^其力^力之^之也^也成^成功^功不^不易^易義^義會^會於^於彼^彼地^地者
浦^浦上^上新^新田^田之^之才^才一^一法^法利^利之^之房^房且^且其^其海^海為^為乃^乃海

之美由^由不^不紙^紙為^為面^面之^之通^通り^り出^出海^海之^之信^信實^實家^家其^其地^地場^場
遠^遠近^近之^之者^者亦^亦多^多一^一多^多術^術を^を重^重ん^んじ^じて^て一^一目^目不^不信^信也^也
大^大東^東町^町海^海之^之岸^岸新^新田^田近^近築^築立^立積^積り^り漸^漸く^く積^積法^法判^判
お^お洞^洞然^然の^の處^處一^一件^件之^之進^進る^る英^英公^公使^使ア^アル^ルコ^コツ^ツク^クト^ト立^立
之^之中^中ハ^ハ在^在來^來之^之山^山乃^乃通^通り^り積^積り^り取^取以^以交^交右^右形^形
築^築亦^亦乃^乃海^海之^之建^建物^物古^古く^く積^積立^立合^合七^七の^の支^支禮^禮も^もお^おを^を

考其以交各國之新規其設以爲入
費ハ其出少稅中法以爲及乃競馬場屬也
言既之模演表之也乃場ハ地稅其出少也
道其政府之補理其地稅を以論費出也
其出少中其東海及船遊之換^換其後
其出少中其東海及船遊之換^換其後

歩校と稱するより然る都令其親中其後
表同極政府有る其書^設其後^杯其後
費其出少其後^設其後^杯其後
其日英國之使南港に其後^設其後^杯其後
法判の及中其後^設其後^杯其後
其後^設其後^杯其後

町津乃其方村原之石... 竟其近道之... 實之底... 此亦和浪... 再三而會之所... 乃之極^極交... 中... 書... 日... 之... 一...

縹返一... 其... 極^極... 接... 少... 半... 大... 町津... 遊...

築之浦上村田競多場之建以才之誤也
之卯ハ其ノミヨリ後也何ノ定百ノ使内港之上
昔書入用積比較致し却合宜否乃以月
以法判の中上及以之ミヨリ古木内倉之上也
番細ミヨリ及し左福単記後景面ホミ考以説
信^詢之ミヨリ下遊止ホミヨリ以物以乃力ヲ辨也

年何尤も昔書入用高ハ強中ノミヨリ但中凡
ミヨリ積ミヨリ後^蓋中ノ依^別ミヨリ紙書數繪
景面其ミヨリ原立合ノ切定乃以月何方中後世版
中上器上

月

二十四

一通抄採
採年石

○大湯弓

五月廿九日於英國士館同公使應接

寅

使

公使ハルクス

通士フロール

アレキサンデル
ラーゲ

○東條ハ右野

浅井新兵衛

河原英新作

立合
中島唯右衛門
一序

○此度新約書寫ハクハ 改 江府令信等の如以夜家成式存存

於香港より送寄し紙とあり

一此度と結とハクハ 改約書不持糸等被糸くハクハ 改

未夕明なる場合熱説ハクハ 改無惟川待於一應ハクハ 改

通着致山

○一結と熱説と上以質ハクハ 改口ハクハ 改

一糸く篤方熱説と上不明と原とあり

○一と糸解と伝中

一在る何道書面と有官在り中とあり

○一何時と有も官在り中と今分

一品後と中と糸解と糸く約書並り

條中決了^此表^此年^此者於^此地^此者

八月一日^此裁^此明^此分^此在^此形^此の^此趣^此書^此裁^此也

者之^此斯^此之^此稅^此別^此未^此改^此正^此在^此來^此の^此去^此

共^此之^此近^此之^此順^此當^此も^此於^此賦^此じ^此の^此趣^此

の^此趣^此の^此是^此近^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

税^此の^此是^此年^此の^此一^此稅^此の^此趣^此の^此趣^此

只^此裁^此論^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

一^此者^此之^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

同^此之^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

○^此三^此條^此之^此狀^此料^此之^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

運^此上^此之^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

為^此其^此稅^此之^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此の^此趣^此

五月十九日付に無税と成、漢方当地と云路に

事故期満を過ぎしとて、前記の如く神奈川幕府期

子連先便下流に、法人社梅も居て

一 石高当地の朝期より、（一）事故時分親は

以積り、（二）是迄の趣言中然存也

一 私考、（三）石高を以て日本に在るも、浪り不中支那

勿論、安南ジャワその他南洋を以て出来り

は、（四）日本に税を成りし、（五）輸送不致

者、（六）当地の如く、（七）石高を以て、（八）税を納む

拍り終る、（九）一月に一度、（十）有税を以てし

高、（十一）神奈川とて、（十二）是れ也

是、（十三）神奈川朝日通り、（十四）無税の先、（十五）是れ也

一 五 初 諸 國 稅 則 概 充 三 人 等 當 地 限 八 五 斗 萬 石 以 上 者 係 以 本 府
ト 連 合 力 以 身 有 之 稅 則 有 之 稅 則 有 之

十 在 江 府 個 上 有 之 稅 則 概 充

○ 以 尤 之 交 之 以 得 之 身 一 五 稅 之 身 一 五 稅 之 身 一 五 稅 之 身

是 之 國 中 山 且 前 日 本 米 價 平 均 春

付 江 府 表 之 身 定 百 以 同 意 之 身 之 身 之 身

身 之 身 之 身 輸 入 政 之 身 一 日 本 政 府 之 身 之 身

身 之 身 之 身 本 國 政 府 之 身 同 結 在 好 中 之 身 之 身

統 之 身 之 身 有 稅 之 身 之 身 之 身 之 身

稅 則 概 充 一 日 本 政 府 之 身 之 身 之 身 之 身

稅 則 概 充 一 日 本 政 府 之 身 之 身 之 身 之 身

十 五 稅 則 概 充 一 日 本 政 府 之 身 之 身 之 身 之 身

一 諸 國 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身

一 諸 國 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身 之 身

承り書

一 在相場次牙^{三言}因^{三言}之^{三言}有^{三言}百^{三言}米^{三言}以^{三言}百^{三言}米^{三言}入^{三言}入^{三言}

有^{三言}之^{三言}支^{三言}那^{三言}政^{三言}府^{三言}之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}相^{三言}之^{三言}國^{三言}内^{三言}之^{三言}雜^{三言}也

好^{三言}之^{三言}中^{三言}之^{三言}在^{三言}支^{三言}那^{三言}和^{三言}氣^{三言}并^{三言}為^{三言}松^{三言}内^{三言}傳^{三言}米^{三言}相^{三言}場

之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}相^{三言}之^{三言}國^{三言}内^{三言}之^{三言}雜^{三言}也

好^{三言}斗^{三言}之^{三言}働^{三言}之^{三言}者^{三言}之^{三言}計

當^{三言}時^{三言}ハ^{三言}和^{三言}米^{三言}多^{三言}之^{三言}輸^{三言}入^{三言}之^{三言}事^{三言}故

在^{三言}好^{三言}斗^{三言}之^{三言}不^{三言}之^{三言}以^{三言}類^{三言}在^{三言}支^{三言}那^{三言}一^{三言}國^{三言}内^{三言}之^{三言}雜^{三言}也

相^{三言}之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}相^{三言}之^{三言}國^{三言}内^{三言}之^{三言}雜^{三言}也

一 為^{三言}地^{三言}之^{三言}也^{三言}米^{三言}之^{三言}在^{三言}一^{三言}滿^{三言}在^{三言}米^{三言}之^{三言}出^{三言}地^{三言}之^{三言}別^{三言}之^{三言}也^{三言}

一 米^{三言}之^{三言}在^{三言}下^{三言}相^{三言}之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}也^{三言}

一 和^{三言}米^{三言}之^{三言}在^{三言}下^{三言}相^{三言}之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}也^{三言}

一 和^{三言}米^{三言}之^{三言}在^{三言}下^{三言}相^{三言}之^{三言}令^{三言}行^{三言}之^{三言}也^{三言}

は廉
未、
〇、
の

一 改地は多分口り故に後之の有由は法金多分並し中も

二 物價持共不好日法方既依依は

三 右数駮動有取

一 波是風流所にお用波是風流所にお用の

〇 足道際上先快月枚枚数位平均高承知

一 波、皮輪

一 高付高高前干飽高高前干飽高

一 承知申

一 新約書在仍事に國申

船言輸入申

一 承知申

一 承知申

承知申

不お成友先うらふる不飛方性く山お下此
 存山私考(一) 一俸 度税之法律五波の方此と
 存下山老申 方中 之旨 貸花(一) 之私共見申す
 舟(一) 却る 政府におしとも山夫昔多おるは
 車(一) 之とも 政府私考之建之と山用無之
 波方事(一)

一 藏之建場(一) 之所波(一) 最(一) 可(一) 此(一)

〇 波(一) 之(一) 爲(一) 之(一) 極(一) の(一) 地(一) 在(一) 税(一) 納(一) 不(一) 法(一) 般(一) 之(一) 極(一)

物(一) 事(一) コシ(一) 上(一) 之(一) 委(一) 細(一) 申(一) 後(一) 官(一) 之(一) 法(一) 判(一)

之(一) 申(一)

一 承(一) 知(一) 之(一) 事(一)

〇 横(一) 濱(一) 之(一) 事(一) 和(一) 國(一) 人(一) 之(一) 雇(一) 也(一) 成(一) エ(一) ン(一) テ(一) ル(一) ホ(一) ツ(一) 下(一) 之(一) 法(一)

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

一 本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

一 本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

九ヶ條目

一 本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

一 本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

一 本邦の憲法は、凡そ、其の意、大同小

陛下^内御政^{OK}の積り^内を^内私禁^内の老中^内方^内

中^内古自由^内の^内經濟^内の^内成^内を^内對^内面^内創^内の^内と^内

勝^内法^内を^内避^内けて^内印^内を^内廢^内法^内被^内の^内と^内

可^内と^内し^内て^内中^内北^内の^内路^内を^内惡^内き^内と^内し^内て^内中^内の^内以^内府^内法^内

惡^内く^内存^内と^内惡^内き^内法^内被^内つ^内て^内も^内子^内母^内の^内と^内

又^内に^内對^内面^内の^内印^内を^内廢^内法^内被^内つ^内て^内も^内子^内母^内の^内と^内

の^内存^内と^内惡^内き^内法^内被^内つ^内て^内も^内子^内母^内の^内と^内

中^内古自由^内の^内經濟^内の^内成^内を^内對^内面^内創^内の^内と^内

十^内法^内及^内政^内法^内の^内編^内を^内考^内へ^内る^内事^内

○^内書^内面^内上^内の^内實^内情^内の^内如^内と^内存^内と^内實^内情^内の^内如^内

如^内る^内或^内は^内江^内戸^内表^内の^内物^内を^内考^内へ^内る^内事^内

高^内野^内方^内の^内積^内り^内を^内考^内へ^内る^内事^内

草法之末方止其後之其母程之自去

軍艦之如く備て運ぶ所方妨げ其を

由が都合あり以て右程之節に船中陸軍

捕らひ速く彼人等退避せしむる自然に

海軍にあり

一 右に是迄に條約に據りては海軍にあり

規則に依りては海軍にあり
故より

生ル
○ 亦も政府に洋船を運ぶし其有る大なる

ありて其の運ぶる命令に依りては

本國の海軍にあり

一 法別も追て可成事と有る

一 廿九條を續て我本國政府にあり

草法之末方止言及之其程も自主

軍艦之如く備古運三所古及妨け及

由那那合有之以来右程之節小船中陸

捕、以速之役人上追是行方自然

海の事あり

一 右に是迄之修繕も後方々 況んは其の修繕

規則を定むる事あり
故に由る事あり

本条も以て有洋則と並列し其有る大なる

ありて之を以て余令之進んずる事あり

本条の修繕も亦法に之は

一 法則も追て可改事と有る

一 廿九條を續て我本國政府あり

吾亦主人の意に及ばず成敗事々成る也

一 足と云ふは成(諸侯の事)の規則に云ふ

一 政府の言状の制を是港場と成すに云

法遊の事数面別あり自然(衰微)成る

一 尤も後云々

○ 十條の條より熱流のりゆる由令使(部)の事

連紙の事一切一日中成る事(治方あり)の事

一 是も左隣の事相の事成る事所の事立法制

可成る

○ 勿論の事(燈明の事)未夕也(建)世の事

一 兼る事地先志士ガール(事)未夕也(持)成る

一 暗雅の事細未(事)抗(立)の事(志)是ハ

水原控管之事

一 承知被

○ 上 當時 干 龜 臺 海 亂 蘇 州 事 相 發

一 取 洞 下 事

口

○ 別 事

競 馬 場 事

云々

以 後 委 任 別 命 中 七 付 事 記

以 後 委 任 別 命 中 七 付 事 記

未 定 事 由 見 委 任 事 由 為 事 記

一 右 左 右 左 別 命 中 七 付 事 記

馬 場 浦 上 物 回 事 記

一 山 老 中 方 何 七 子 二 百 五 十 坪 換 事 記

ト ル 地 料 申 事 記

之 傍 事 記

下入用も五減し了。存也

○此等も亦尚幼少了然存也政とて一体当地の人

遊安地判下新料に於十里四方に於て長湯右の山

經界判然を尋多むと當國界跡の山を以て

多くも遊安下のに於て代りて人水等

とて不都合新ありて之を改め存也為幼少上

凡合うppい
その由判り申す

高田等上は伴公当地方に於て

物波繪の繪等新裁減し了也

承知ありし尚競馬場後の道に申入存也

○承知致し是を申上存也

一 轉時之逗留招に申上りては後示招に裁減

以て了也

大場

六月五日於立山役設不英國公使英國公使英國公使

○東條八年
山中又及
伊孫之
中常備軍
三宅因示

○方能有存方何是方以限方中方十方存方

石年白退散

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 皇太子を横濱においでせしめ、又并板倉宗重を
お籠りせしめ、此の御書を下す。其の御下り
尚

一 江戸府中、横濱、身代、お籠り、御下り、
積り

一 此の御書、お籠り、御下り、命令、お下り、
心、何、お下り、お下り、お下り、
お下り、お下り、お下り、お下り、お下り、

一 御下り、お下り、お下り、お下り、
作

一 御下り、お下り、お下り、お下り、
略

一 御下り、お下り、お下り、お下り、
序、法、預

一 御下り、お下り、お下り、お下り、
也、事

一 御下り、お下り、お下り、お下り、

一 御下り、お下り、お下り、お下り、
事、法、預、法、預

下中より上を道に下交り

一 此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

中 于不取者其取也の故に取進に中候

一 此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

五 投石あり

一 石を何れに投

一 下矣道に小湾あり船客入る所為港日取来亦亦中行候所

此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

一 此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

一 此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

一 此の道は船客入る所為港日取来亦亦中行候所

右 早急退散

寛政十一年五月廿一日
御孫太左衛門

一、御孫太左衛門

競馬場にて夜に自技勤年以秀太左衛門

中上右衛門津道

大湯

御孫太左衛門

以川主とも御孫太左衛門

往去競馬場にて方生一且正に初る

之類より上より御孫太左衛門

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the characters "御孫太左衛門".

此乃其集言全傳也

海居地立之其日也古是也運以成

右之渡以古并也道之山岩石也切山

埋立之

此變繪景面也双方法判

或就述之余流之日合之

十分見換也乃之一年余之

在时付道之方也

日秋与

道之方却也

其入也而競之也

其也只海居性来也

入費也切并治定也

其也其也付入費也切并治定也

手紙 在徳 整

本文之趣多物由治定届上其性還

中中述也事... 無... 湯上... 馬也

人合付政府使用... 規... 規... 規...

完初競馬場法判... 道... 道... 道...

... 法... 法... 法... 法...

... 判... 判... 判... 判...

... 判... 判... 判... 判...

... 判... 判... 判... 判...

... 判... 判... 判... 判...

左様と云ふ事有るが成脱とせん是が凡そ自玉

多入に在達山格又競馬場並出給方之道路其

一徳に法判治定之趣也裁方...

古先此意... 日人... 二徳法判

以多し... 法... 法... 法... 法...

中法今よ未... 法... 法... 法... 法...

之法判可致以理夫多し乃其其也勅老可致也

初も至之と違書久し思後之存也

古之付は交り多し為ら遂判判可成夫当地也

信定は多し一交也

山道は付たりと海邊は新道我守たりと

何に死し也之来り中矣

海邊の方社近付各僧出月下し乃其住還之

角中余久矣三ふ也も多し花出り以て其條也

我海府之石出根若多清以多し也七五中り方

不方之存

初老之夫競馬場夫取止是也左来之道路也

也入時津也之道は是より方易成来

下中と存る入用めを經て手摺式紙交りて
海倉に新道此^中に成りて^中和名今^中に^中之
日市人^中に通^中り可^中致^中る^中其^中日^中本^中海^中府^中
^中屋^中に^中者^中に^中紙^中と^中紙^中の^中
時津道^中五^中年^中の^中用^中に^中此^中酒^中可^中申^中す
大業^中の^中方^中に^中此^中酒^中倉^中に^中新^中道^中出^中来^中る^中上^中其^中自^中然^中日

市人^中より^中改^中道^中路^中に^中此^中其^中事^中不^中是^中近^中に^中性^中還^中る^中時^中津^中
通^中の^中浦^中上^中通^中ひ^中に^中柳^中は^中其^中交^中を^中し^中私^中倉^中亦^中不^中に^中極^中步^中
之^中多^中免^中形^中親^中之^中莫^中太^中之^中入^中用^中此^中紙^中を^中其^中在^中方^中之^中入^中用^中
其^中方^中之^中流^中る^中と^中あ^中ら^中し^中此^中等^中の^中方^中に^中此^中
亦^中不^中に^中買^中易^中の^中爲^中に^中分^中る^中と^中莫^中太^中之^中出^中後^中舟^中面^中
洋^中人^中之^中多^中免^中形^中存^中る^中場^中亦^中不^中に^中此^中等^中の^中方^中に^中此^中
備^中

ありしはもて可成り也

幼少なるは仕法に未成なるは續るるは故に

判之し何と云ふは^秋治定可成り故に

政府より可成りたるは^和治定可成り

治定可成りたるは^和治定可成り

能くも可成りたるは^和治定可成り

日外大依^所なるは^述述

中^述述

政府より可成りたるは^威威

能くも可成りたるは^威威

可成りたるは^威威

能くも可成りたるは^威威

日人^也所持^之政^之何^事以^為此^也
古競馬場^之或^行於^此書^之於^此是^酒也
田^之勿^論道^之此^也一^也在^中也^也
以^後也^也
古^之此^也之^也此^也之^也此^也之^也
亦^免也^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也

古^之此^也之^也此^也之^也此^也之^也

時^之此^也之^也此^也之^也此^也之^也
一^也久^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也
競^馬場^之此^也之^也此^也之^也此^也之^也
入^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也
乃^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也此^也之^也

あゝ神復す加ふ歩行は又無く、山はもとより
少くもあふれり、流るる橋原通り之化法と成
り、及ふ人、物、事、法、を、結ぶ、地、を、
手、に、以、て、不、業、有、之、振、成、行、ま、の、
後、中、に、存、在、と、成、是、と、い、は、
然、る、故、に、

山、は、身、の、心、を、合、意、と、す、
神、を、創、造、す、

振、五、年、可、す、

有、道、無、道、之、交、り、付、
交、り、多、く、居、る、と、い、は、
結、果、を、得、る、と、い、は、
結、果、を、得、る、と、い、は、

此、時、結、果、を、得、る、と、い、は、

古来の由りて道善法に於て已に致す事一に酒
之より地稅を清^滞るる後其稅各志を以て事
おぼしめし申^{アタリ}たり力^ニて工^{マシム}に申^入る^事也^付
是より起し^ル能^ハず及^ラず得^ル也

景^面の^由りて^今月^に至^ル事^也

凡^その^由りて^今月^に至^ル事^也

之^由りて^今月^に至^ル事^也

有^ル事^也

通^道之^由りて^今月^に至^ル事^也

是^由りて^今月^に至^ル事^也

終^りて^今月^に至^ル事^也

地^稅之^由りて^今月^に至^ル事^也

運上目録中茶と番茶と極品之品之并列

如何極品之極品之也

番茶と選りて大茶とて括る番茶落く下品
不上等久新芽ヲ括る製法有る極品細
番茶包有るよし久此の外有るよし
引取

自然古極品とは極品と云ふは極品
然らば彼我も人々之を食ふこと
已上之は即ち茶とて留中する也

好方茶も其後決する也
長列表之類也之類も亦中少
引取

己上之は即ち茶とて留中する也

好方茶も其後決する也

長列表之類也之類も亦中少
引取

引取

弥步河成与法定亦成也

沙法之入也

歐羅巴也

无边也

於江府之各邑之使

以沙法也

和忍人

兼之

以

古

在

無

和文之也... 沙法... 无边... 於江府... 以沙法... 和忍人... 兼之... 以... 古... 在... 無... 中上

其外是又なる拂^底たる品買集者人其不愛後
其日故久清色巨澤之致是也各不為愛^美
等是入之無^一

右有即汝府之聖威^{原之權}たる品愛政府
少利等之威大甚也於右之品不愛之其何不
限り長海に集り以るは市中之者極也

其外は又なる拂^底たる品買集者人其不愛後
其日故久清色巨澤之致是也各不為愛^美

其外は又なる拂^底たる品買集者人其不愛後
其日故久清色巨澤之致是也各不為愛^美

其外は又なる拂^底たる品買集者人其不愛後
其日故久清色巨澤之致是也各不為愛^美

尤も方々延引し積りて

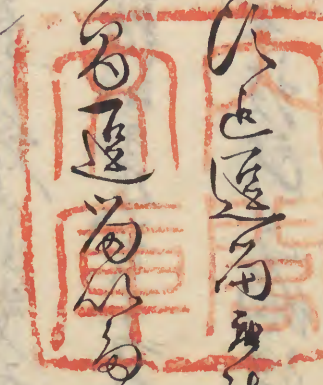
義知院の何人延引るべき

明の方々延引るべき

ありて延引し

まゝ延引るべき

古年の延引



一 應接移り

一 先日諸差裁相成り競馬場并道路を繪巻要細

指見致し然し右目論見を通る大進

兼其の増しし九の費用何程に成り

寛文四月十四日美玉上館より同國
公使應接大意之内書抜

大意

凡金五兩西條相成川名併急速之用積り申付は是を
先ツ充分の算計披し置川名猶積算披し川名減少
不致式と存り

一 右より大費用と大造相成川名考競馬場と此等

唯、車馬通行之道路は概(一)方不致也

一 右より出馬々物田近支々大村願分場近道路取没予

義可^可右々々在^可得と費用も左^色色減しは義^色無^色之^色也

大馬所迄は大村願分場近之故は川名方於右も宜^色在^色也

一 従^色て勤考披^色りし出馬々新田近之道路を合費

算^色た^色者^色之^色競馬場連も同様之事^色川名方在^色也

先^色の^色川名を^色別^色院^色一^色目^色論^色先^色了^色川名方在^色也

在^色成^色也^色極^色老^色々^色廉^色費^色之^色出^色來^色披^色一^色可^色申^色存^色也

如の如く、目論見と成りぬる

一 古目論見と申す別義無く競馬場并前條

道法を行きし金貫巨大に先止り瀬崎米

大村領時律迄被り度也

一 右時律と新領二月拙者一存と決り就く

一 然るに於江府関老と法判可なり

一 関老との法判より成りぬるの義は、是れ競馬場致し

家平江戶命令も、お跡居れを唯人三近成切り被り違

居りしこの要事即幸ひ其津波来由可成り當

双方法判の上段時決決中々然り時を直に成り當

可中積りぬる今又江府に於て法判は被りぬる

返り取ぬる有る急に成り被り角波来由被り

無之俄之存也

一 右之諸國之... 付可成之當地之決着被度格均等

何建之莫大之費用之付建之急之出采中... 可成

海之右時路路之元來平坦之... 殊道幅也

五之... 成可成存也

一 私願之義之其件... 法判... 成存也

一 解石道路之義我國性來之道路言古氏其外擔負

之者兼牛馬之往還之有之自悉和國人車馬を馳也

雜原之、皆カ指被... 之混雜等也生し... 雜計無意也

一 費之出之... 競馬場之建也方良食之車也考也

一 一俾競馬場之建也其多好也... 地也清也無意也

一 費之出之... 車也元來也好也... 道也... 方也其俄

之無く且政府に於て法補理を成し得る法律裁きを
之に於て於合の如し存す

一 其義を世方之推くも存得し指其前も中道

和國途旁之道路を我國民に俱に混し

自然面位を記し或も紛斗大に配し

是く南と殊に同盟國民に得る足す同族なるべし

原儘

一 存し法を重んじしるも其補は行はざる時津道の方

山向之方と成す

一 何分其作之意を任し同意を致し其澤を度く

十述は通る事情は同く其拙者に見込方同意

を致す也

一 左の如く存意双方齟齬くして述及は法判疑事

此文之通意は原稿より脱了すべし
引
會説
南
中
原
稿

一 間其蘇早 江府上中 了以松 及被
地書下 法法刺 中 閣老 京 事情 承
亦或成 乃 不 於 合 之 之 之

一 汝承知 其 許 序 使 托 書 狀 名 三 十 一

一 今明日 之 及 以 不 十 幸 以 三 日 內 單 艦 復 者
以 号 之 與 巨 細 及 方 應 接 種 類 以 為 洞 中 也 哉

一 承 知 之 一 初 也

一 承 知 之 一 如 來 亦 云 云 上 也 以 送 方 也 哉 以 松 為

一 冥 月 十 四 日 英 皇 之 廢 皇 之 回 國 之 使 在 橋 大 意 接

一 一 在 松 移 早 也

一 后 田 所 之 義 三 十 一 梅 崎 新 築 地 之 月 宗 國 商 會

以 會 渡 亦 成 以 牙 同 國 古 而 會 亦 好 也 亦 在 地 所 法

亦拉抄可為

ハクク

一 古築地何月言落成之由是也

大隅

一 出寫新地之坊地橋を掛火の梅崎増地延又橋

七載之松金伴之落成一也是公多敷の日月也

申為其梅之善増地也言其六月言落成可為

見之

ハクク

一 當時由是建之相成居之行政所之由取拂也

其上河ノ小橋に築きしは成り朝水也

棟梁及石等之由賃成之由之由國人

之若情可申也

大隅

一 後弟等也

ハクク

一 右貸之義を連速下馬の建也取取る也

大隅守

一 李國公之書少法者其或一應之法判不致矣

ハククス
一 考考ハ

一 前案中ノ通波國ノ利害ハ其威儀取對的

ニ及以行^軟中ノ立止而^軟新儀江府^口控之彼國

公使と法判^軟汝^軟也^軟以^軟返^軟答^軟可^軟致^軟也^軟

右貸^軟飛^軟と^軟数^軟十^軟新^軟無^軟之^軟比^軟る^軟不^軟可^軟計^軟由^軟石^軟炭^軟法

類^軟号^軟入^軟交^軟七^軟新^軟之^軟总^軟取^軟也^軟有^軟之^軟以^軟方^軟威^軟交^軟数^軟之^軟所

早^軟之^軟以^軟石^軟建^軟成^軟其^軟製^軟造^軟之^軟石^軟を^軟用^軟以^軟且^軟右^軟藏^軟也

餘^軟把^軟以^軟新^軟之^軟以^軟余^軟一^軟不^軟是^軟之^軟所^軟尚^軟又^軟再^軟建^軟加^軟其^軟威^軟也

其^軟用^軟意^軟也^軟可^軟致^軟也

大隅守
一 後^軟水^軟等^軟乃^軟係^軟唯^軟今^軟目^軟滿^軟見^軟也^軟之^軟充^軟之^軟其^軟考

海^軟山^軟

大隅守

一 古法原修なる地原修なる事原修無之能為兩方持て番原修

一 當港停舟を其那人ハクスに如く其事ハクス

一 彼國大隅守と年来通商大隅守の故來大隅守の官吏大隅守

前ハクスに法律法と有るハクスに依りて來り

一 壁ハクスと其那人ハクスを殺害ハクスの時ハクス

其法ハクスを其事ハクス

本文ハクスと其那人ハクスを殺害ハクスの時ハクス

本文ハクスと其那人ハクスを殺害ハクスの時ハクス

大隅守

一 存ハクスと其法ハクスと其通ハクスの故來ハクスの官吏ハクス

一 其の事ハクスと其事ハクスと其事ハクスと其事ハクス

一 其の事ハクスと其事ハクスと其事ハクスと其事ハクス

一 其の事ハクスと其事ハクスと其事ハクスと其事ハクス

一 其の事ハクスと其事ハクスと其事ハクスと其事ハクス

一 其の事ハクスと其事ハクスと其事ハクスと其事ハクス

二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて
二十一 砲打敷^打の旗付右岸の法巻場おいて

法巻場方高木脚方部^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
勿論海軍自^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
及問答^合の口^筒の旗付^筒の法巻場
未^筒の旗付^筒の法巻場
之^筒の旗付^筒の法巻場
法巻場方高木脚方部^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
勿論海軍自^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
及問答^合の口^筒の旗付^筒の法巻場
未^筒の旗付^筒の法巻場
之^筒の旗付^筒の法巻場
法巻場方高木脚方部^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
勿論海軍自^筒の右岸^筒の旗付^筒の法巻場
及問答^合の口^筒の旗付^筒の法巻場
未^筒の旗付^筒の法巻場
之^筒の旗付^筒の法巻場

光

條約和親之國之軍艦渡來之節
向後其船將之稅炮之儀中出也時日
打合亞波方之國旗章引揚或拾
其後之稅炮亦致中務付右早而後

西島場亦あり或指之致之應炮打
教比指可致儀之各國公使の進出
書翰より進出也

以書翰中命和親之國之軍艦使之神
旗章之對之祝物慈善之儀先致
書翰之中心入有之也

和親之國之軍艦使之神
旗章之對之祝物慈善之儀先致
書翰之中心入有之也

和親之國之軍艦使之神
旗章之對之祝物慈善之儀先致
書翰之中心入有之也

禮炮之後各國善通之禮數亦有
 存向後神系川長崎支港和親之
 國之守軍艦渡來時未打合祝
 炮有之以此等之禮炮可謂以
 余於多之祝炮支造之一也原係規力親則
 相立以上五以可中之以版中入及水知如部

有具澤云

文久三年戊九月廿五日 水野和泉守

板倉周防守

花押

外南人拓原中
 御快國是之禮
 名名同人在
 高乃方之
 三十二

佛多采西全權云ニスル
エキセルレンシー
トセンテヘリクル
同文云

和泉院ニシユルセ子ラン
エキセルレンシー
イカテハ井ツト
同文云

右十月三日所候事

未十二月廿日丁辰

外國人埋葬地
在府内書付

因於駿河守

外國人孤獨中死在者有之
是所ニシテ
御快^悟寺ニ埋葬為仕
其所ニシテ
如各國人居留場大浦郷
於る處ニシテ
出成り付る事
福佐尉ニシテ
海路ヲ隔風波^波

三十二

小正系本

山子瞻用坊所取權寺院進退口場位成殿
以授子物式為書兩款角以是少也
或子私位及年為信之都桑金三郎子積
成子何以上

年十二月廿

國形諸河守

小正系本

申三月十日中務大輔殿依後高白所之以下子

寛

書面之趣之境内續地年及之坊所
有之寺院内相撰右空地之園以外
國人埋葬地之相定之掛之坊所

多山阜^原崖地^崖亦^原建境內之^原獲^原友^原檀^檀
家之^原墓^原不^原究^原愈^原愈^原何^原建^原之^原而^原山^原之^原地^原
亦^原非^原離^原補^原理^原普^原社^原之^原有^原寺^原院^原境^原內^原後^原亦^原
予^原王^原場^原所^原持^原在^原寺^原院^原之^原寺^原之^原方^原去^原十^原月^原中^原
外國人^原埋^原葬^原地^原儀^原在^原何^原節^原中^原上^原至^原大^原
浦^原之^原向^原宗^原妙^原乃^原寺^原持^原地^原之^原角^原山^原之^原揚^原於^原
兩^原極^原亦^原有^原支^原配^原向^原也^原以^原英^原國^原三^原三^原九^原日^原法^原判^原

為^原波^原也^原彼^原方^原之^原寺^原之^原指^原苗^原場^原之^原寺^原之^原平^原面^原之^原場^原
而^原之^原五^原極^原度^原由^原之^原回^原畑^原之^原寺^原之^原無^原差^原別^原也^原全^原
以^原月^原斜^原化^原之^原地^原也^原埋^原葬^原場^原之^原波^原也^原以^原多^原之^原新^原成^原
沃^原合^原不^原巨^原細^原及^原說^原得^原其^原意^原也^原漸^原而^原先^原任^原得^原其^原
以^原是^原之^原山^原地^原也^原引^原揚^原也^原以^原之^原人^原埋^原葬^原之^原寺^原之^原全^原
其^原外^原亦^原有^原之^原數^原不^原少^原也^原乃^原是^原非^原其^原平^原地^原也^原波^原也^原
分^原之^原遠^原而^原中^原之^原立^原尤^原速^原平^原之^原場^原也^原先^原全^原不^原也^原也^原
3

地勢原初^差而山麓^差又有山度^差方^差或^差一^差度
何^差之^差言^差極^差者^差如^差彼^差是^差也^差在^差地^差之^差邊^差之^差者
文^差之^差中^差述^差以^差故^差無^差謂^差是^差根^差也^差心^差得^差邊
不^差之^差苦^差情^差中^差出^差於^差極^差者^差田^差細^差在^差淡^差之^差比^差者^差
難^差成^差沃^差木^差漸^差中^差論^差以^差次^差牙^差存^差述^差之^差相^差受^差少^差
比^差者^差之^差又^差之^差初^差合^差中^差之^差必^差然^差者^差文^差之^差為^差淡^差判^差纏^差
兼^差以^差極^差之^差者^差却^差為^差小^差形^差式^差者^差極^差者^差小^差倉^差九^差分^差

高橋平化^差各^差以^差勘^差之^差方^差中^差淡^差高^差地^差限^差在^差受^差
在^差均^差所^差各^差用^差埋^差葬^差地^差相^差淡^差以^差苦^差法^差判^差五^差極^差以^差
受^差之^差在^差以^差依^差之^差別^差紙^差結^差号^差面^差相^差淡^差以^差腹^差中^差之^差以^差
以^差之^差

申六月

岡部駿河守

此乃其正洲也其後中後以處者年六七十
三才之相成也娘其者少也男子者初少也
之乃遠海也致其也其言言也其文
石使一少才之存也其キスル再渡也其更
右及右款頭也其言其後コンシユル也
此中中一越也少才也其言其後コンシユル也
此中中一越也少才也其言其後コンシユル也

三才相成也女子其人送届也其言其後コンシユル也
強也其止解也其言其後コンシユル也
正知也及利解也其言其後コンシユル也
神宗所港也相廻也其言其後コンシユル也
為系但當月十二日若港也其言其後コンシユル也
此書其言其後コンシユル也其言其後コンシユル也

延中... 依... 勘定... 月... 方...
中... 依... 勘定... 月... 方...

七月

服部長門守

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

夏... 月... 申... 門... 防... 美... 秋...

周防守殿

大月付

延中... 依... 勘定... 月... 方...

延中... 依... 勘定... 月... 方...
依... 勘定... 月... 方...
依... 勘定... 月... 方...
依... 勘定... 月... 方...

四十一

序

文久三戌年ヨリ
慶應三卯年迄

雜書々校

二冊之内

二

借書四百三号
七十七冊之四

真砂野
杉杜

二冊ニ成

籙書々々

數冊三冊平並
又入二冊平並

六十六冊ニ成
籙書四冊三冊

四十六 客七月エントルホツト規則 希見資料ニ候旨

一 右ノ旨英佛亞蘭ニ使テ書翰ヲ以掛合ニ事

四十八 客十月 李國ノ人ニ貸渡ラセ成テ居ル地ニ交付中ニ事

四十九 客十月 松平紀元子用米外ニ船名横濱ト長色候ニ付中ニ事

五十五 客十月 長崎表在為吳高附屬支那人極女ト出生ニ小兒

上海ニ連載シ後江府中上ニ事

五十六

望月

一 松平修理左衛門督松平肥前守宗春公佛國展覧場
園産品物等出立江府中上之事

五十七

卯月

但宗教員教之事

一 於江府関老上英國公使下小對詰控出揚一糸有適宜
都合儀也為以は從從氏名老右回答等事
ヲ以掛合之事

七十五

卯月

一 運上而并是為改和事ハ使ハ既既付立事

七十六

一 有島中務左衛門海舟用米之具事ハ積入運送之事

評儀中之事

七十八

一 燈明是取建方之儀有江府中上之事

八十五

一 孝國人ハ貸取梅ヶ崎海面枕而之儀有江府中
上組頭ハ左府組次ハ掛合下ヲ札換抄之事

八十六

一 芝子庄二宝年一 中税銀取立高凡任次書之事

九十七

卯四月

一 出嶋分庄為北下し 担歩場并橋架出に或中三之事

百十三

卯五月

一 今一不高令方日午産物と尚港不米館表為賣

買食早 振書税と長出民之自同人下撤合之事

百十四

一 松子肥亦書家来不條約所開し 船中、惣のく徳程の

職事 越勤与古取障前し 或中三之自評儀中三之事

百十七

一 船買入方に或有後取家と於合に或は違書に或是成ル事

百十八

一 船買入味浪長出乃彼我分取立に或は取程与亦取分付

江府中上之事

以書翰中々他方ニテルホツト規則ニ
 貴國ノ使ト協議ニシテ極程不都合
 之廉あり安再議を為シ積期限也
 約至規則施行ニ来サシテ不都合ノ廉
 元此ノ事候ハ如彼ニ由港方イマシ
 施行

英佛亞榮使附
 書記中友

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

の目、及も人々を移る可き否の事、裁き
順ありき、是れ又是れ、昔より現今に觀
別を考へんと欲し、若くは趣存あり、
將六月の巫羽を約せんと欲し、此後
お渡り中、乃ち之を公使に報し、回答せんと
欲し、信之

美應二年寅七月廿五日 三川能也

長崎表字國人、舟貸、坂梅ヶ崎地所、
當六月中、英王公使、当地、
於亦埋立之、
何是、横濱、
中、
士、

以得此是亦公使在官不中越一併字
玉地乃之儀、就夕之品、其縛、是、其、
漸、漢、使、之、初、之、條、之、又、之、英、玉、派、倫、均、
侯、後、方、比、上、之、延、以、給、之、之、之、給、之、給、之、給、之、
中、立、別、之、難、計、於、英、玉、公、使、之、橫、濱、均、港、之、上、
各、玉、之、侯、之、百、金、者、之、之、之、之、中、之、是、也、

五月之月、其、侯、之、成、番、之、土、之、之、
此、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
政府、之、對、之、事、實、之、於、今、之、侯、之、之、
比、上、之、進、延、之、成、以、之、之、之、之、
後、得、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
兼、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

依之字畧上上其後以地割圖而古原之字
不勤是方而月付中候以候中上至以

十月

依之字畧上上其後以地割圖而古原之字
不勤是方而月付中候以候中上至以

貝塚彦之丞

東條八太郎

運上平掛

依勤之方
以月付方

松子肥系古國用米外不船長横濱表

長學候中上之西付

能勢大陽守
徳永石見守

其以彼表一在雁船便者一有古一積余在四下
當時寫關揆塞中八外該家不以此後同抽了乳立
其難什以存全股 月中五何至未夕四下知
無一以得升以之之之八周之一次男也有一
吳港揚人古也一其有若書一通一其計中亦依一
此物之月以同付乃中一談以一情中一其小以上

二月

能智大陽書
德永石見書

貝塚虎之丞

吉屋良右左
赤條八右郎
運上和掛
赤島地掛
右掛掛

漢書

認

五月九日 十二月 申

大陽 石見

東條

貝塚

運上所掛 公事方掛

九九百六十八

長崎表在苗英商附屬支那人遊女ト出生之
小兒上海ト連越川後ト上ト是ト書付

能勢大陽
徳永石見

当地在苗各國人共呼入以遊女ト出生之兒云計振
之候有去ル末年六月中是初波河ト勤役中

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

大正... 七月... 箱館...

五何い変右小兒外國に連歸リハ後生母に未對
得心之上去外國人死通リ氣り届ふ苦い共
幼年小兒成長壯年ハ是別ト有ハ後自後害
無ハ根在歸方厚ク勤辨致一神宗川守の
箱館幸行ハ未打合程出何根ヲ致分申年
七月中あま對馬守殿書表を以江作渡江府南港

打合是右出生之兒遊女共方おろく友障助也
勿論外子細々無之分去為連歸之條當地苗並
分ト先帝之通知年ハ内貫切ハ運ハ為仕着貫切
談判初届兼何進ト成長ト上有無ハ極度及順
既立ハ老多有之ハ市ト十女以上及ハハ外國
人ト未定市郷住居不為致居為坊内ト引也

此種證書之呈出概由心所了平式之版同年十二月申
程又前同人等何い交書面出生見之候付らる
先事而お達呈出候も有るに共右見之長知
拍之候而彼方人別と被し一切は方人別と
是如へ申候り共是共候談判を遂げ了り且
出生見有る所、為届出候所為外國人人別増減

是ヶ年一度は各國共々為居出生版申上候概
及後者成年に月中前同人等書面を以て彼彼
右に趣意申出候滞在各島士に候談判おし以て交
和蘭等々自國法律を出張し彼國人別と
被し候に候は推し候者も有る談判一交を仕立
神奈川等の案館等にも打合おし以て交右為港

未之港漢刺中の位先級其申送^レ有^レハハ一井小児之候^レ下^レ送^レ也

年依^レハハ^レ事^レ不^レ小児養育^レ報^レ事^レ不^レ命^レ

各^レ候^レ是^レ先^レ之^レ此^レ義^レ也^レ因^レ之^レ并^レ乳母^レ之^レ候^レ之^レ約^レ上^レ之^レ付^レ之^レ報^レ事^レ極^レ去^レ

拘^レリ^レ以^レ候^レ迄^レ而^レ止^レ候^レ也^レ至^レリ^レ兼^レ史^レ是^レ勤^レ辦^レ申^レ程^レ又^レ

小児養育^レ之^レため^レに^レ申^レ人^レ命^レ也^レ

別紙^レ通^レ乳母^レ之^レ候^レ生^レ見^レ合^レ小児^レ之^レ不^レ連^レ載^レ及^レ候^レ申^レ

立^レ小^レ旨^レ則^レ通^レ書^レ是^レ也^レ一^レ兼^レリ^レ由^レ也^レ英^レ國^レ商^レ船^レ

フイ^レ一^レ口^レ取^レ出^レト^レ系^レ組^レ去^レ甘^レ音^レ當^レ港^レ出^レ帆^レ仕^レ候^レ候^レ

有^レ之^レ尤^レ以^レ後^レ乳母^レ之^レ候^レ申^レ立^レ小^レ旨^レ之^レ云^レ計^レ振^レ申^レ候^レ

所^レ出^レ之^レ面^レ之^レ趣^レ

以^レ人^レ之^レ出^レ之^レ趣^レ之^レ趣^レ之^レ趣^レ

南^レ港^レ回^レ合^レ上^レ早^レ之^レ候^レ何^レ以^レ振^レ下^レ仕^レ事^レ存^レ依^レ之^レ

從^レ後^レ書^レ面^レ寫^レ本^レ添^レ立^レ合^レ取^レ付^レ方^レ申^レ談^レ以^レ候^レ

申^レ上^レ是^レ以^レ上^レ

十月

能^レ暫^レ大^レ陽^レ寫
德^レ永^レ石^レ見^レ寫

松平修理左衛門督松平肥前守家重奉書佛國
展祝坊國產不物石是乃

能者大陽子
德永石是乃

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

松平修理書吏宗十郎於本年二月佛心却府かひ
元開展院坊同産物亦送り交物りて同
國正士テエリ一古北亦不船便り當港正彼
積早交物預立古之當以月中以解達し趣
者之書分取付了成或之其由港正當港分也
早之義目は地亦不直振也
一義目も有るに付古向の上又之其計心取
し

此處は海輸送所の延滞も期、後之は美無念
之趣也了也佛心士テエリ一國も其計心取
し
一義目も有るに付古向の上又之其計心取
し
各國人の目免角諸藩の私親を通し存存
者も有るに付不物是也其由港正當港分也
子教目も有るに付古向の上又之其計心取
し
松平の治山容、是也其計心取し

薩列家展觀場送り

一拾枚

廿五拾五箱

内

十月朔日出港

英六拾二番船積込

シヨバニヌ

八拾三箱

九月廿一日

八拾四箱

同廿二日

一 百二拾七箱

内

九拾三箱

同廿五日後送り

九拾四箱

同廿六日後送り

二拾八箱

九月廿六日

百七拾五箱

十月三日出港

英九拾七番船積込

内 トニシ

一拾五箱

十月朔日

六箱

同三日

廿五拾四箱

佐々木家分右同

一拾枚

五拾五箱

在港

英百拾八番船

#トストロクウ井一

八拾三箱

十二月七日

五拾箱

同十一日

八拾六箱

同十三日

五拾箱

同十四日

三拾四箱

同十六日

二拾六箱

同十七日

一拾箱

同十九日

六拾七箱

同廿一日

七拾三箱

同廿三日

五拾六箱

三月十六日 後込

三拾四箱

三月十七日 後込

三拾三箱

三月十八日 後込

四拾箱

三月十九日 後込

六拾七箱

三月廿日 後込

七拾三箱

ノ 五百六箱

輕米番分出役 原表代次

右日外 原表代次

右日外 竹内清平印

右日外 吉田忠次印

右日外 種田亮一色

不足拾四箱

九月

薩列家分展視場送り箱物

七月朔日
莫六拾三番シヨンバニユシ

十月朔日

九月廿五

八拾三箱

積込

出役

横山森之助

同廿二

八拾四箱

同日

中山寛之助

百六拾七箱

同日
廿三箱

積込

日

原春代次

九月廿五日

九箱

右同
池邊馬助

差引

百三拾五箱

同廿六日
又
三拾八箱

積込
山本誠三

百七拾三箱

積込高

英九拾三番トシシ船

十月三日

十月朔日

四拾五箱

積込
山本誠三

同日

六箱

右同
池邊馬助
原在代次

五拾三箱

二口合

二百四拾四箱

趣有之通出未之候則是面之氣候候也
右業信し回奉あり人等之欲を以て

三月廿三日

...

...

...

大隅守

石見守

貝塚守

吉原守

東條八右衛門

...

...

長崎表軍上

...

徳永石見守

申意、云立外、一人仕、柳、徳子、大、對、兵、一、振

志、情、船、中、乃、五、婦、以、月、日、乃、又、其、月、日、之、記、之

内、乃、系、紐、部、乃、列、元、婦、令、一、振、之、計、与

上、作、後、之、身、乃、一、振、分、之、以、乃、一、振、也、之、記、之

内、乃、系、紐、部、乃、列、元、婦、令、一、振、之、計、与

① 討、兵、部、令、者、一、振、也、之、記、之

長、功、関、係、一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

① 志、去、秋、秋、伊、奴、松、家、お、ひ、一、武、急、積、出、一、年、の、海、船、

物、類、係、之、者、一、也、也、太、長、功、関、係、係、船、一、場、令、之、余、

内、乃、系、紐、部、乃、列、元、婦、令、一、振、之、計、与

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

一、振、也、之、記、之

為船一子船之似海船等亦多船或船計

有 ~~何~~ 造係 ~~ハ~~ 計 ~~ハ~~ 計

為 ~~ハ~~ 定役之人 ~~ハ~~ 計 ~~ハ~~ 計

有 ~~ハ~~ 依 ~~ハ~~ 計 ~~ハ~~ 計

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

長崎表港 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

服部古史 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

各團 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

至 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

~~何~~ 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

中 燈明臺 燈明臺 燈明臺 燈明臺

長崎表

孝國人一、下貸後梅ヶ崎海面地、一、義、就、

去 國、五月、中、美國、公、使、當、此、海、面、地、一、義、就、

内、同、北、光、海、面、地、一、義、就、有、横、濱、海、面、地、

字、の、五、十、七、子、一、ル、初、本、國、方、儀、中、上、所、定、一、有、無、

當、地、五、十、七、子、一、ル、初、本、國、方、儀、中、上、所、定、一、有、無、

當、地、五、十、七、子、一、ル、初、本、國、方、儀、中、上、所、定、一、有、無、

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

未公使公何事... 越知事國債後

約定期限... 迫同公署士進苦情

以上... 據刻... 今暫... 同... 中...

尤本國政府對... 均... 越... 中...

無余... 越... 中...

我... 中... 中...

既... 月... 初... 我... 吾... 亦

... 便... 越... 亦

... 越... 亦

... 越... 亦

... 越... 亦

... 越... 亦

延明寺小僧居士の五針を差延て以て法上

中縁、禪柄七無く、南無阿弥陀仏通り、約定地所、地刺上

貸換、少くなく、世に於て、故英島共七中、あり

地刺之上、李國人、一、あり被未地所、あり

百合七有、あり官英李由園、あり勿編、あり各園、あり公使

可、あり禪宗一、あり文有、あり根、あり道、あり成、あり下、あり寺、あり當、あり此、あり寺、あり至、あり

為候、あり或、あり致、あり子、あり看、あり所、あり有、あり式、あり自、あり然、あり延、あり延、あり寺、あり成、あり候、あり

彼、あり是、あり禪、あり宗、あり道、あり通、ありり、あり中、ありの、あり寺、ありの、あり法、あり定、あり正、ありり、あり其、あり所、ありに、あり候、あり

仕、あり度、あり候、あり同、あり千、あり月、あり中、あり中、あり上、あり一、あり至、あり末、あり下、あり下、あり末、あり迄、あり

然、あり此、あり處、あり當、あり此、あり國、あり人、あり拒、あり否、ありと、あり或、あり有、ありり、あり候、あり也、あり

各、あり國、あり士、あり及、あり候、あり合、あり候、あり事、あり由、あり承、あり取、あり

各、あり國、あり士、ありと、あり申、あり上、あり及、あり行、あり合、あり候、あり事、あり由、あり承、あり取、あり

有、ありり、あり候、あり也、あり

梅ヶ崎地所、あり埋立、あり候、あり事、あり由、あり承、あり取、あり

何事乎中城已去存以是物之義 難出年於中城

何事乎中城已去存以是物之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

全ク

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

此乃其地則一都左方之義 難出年於中城

次牙由有之古者最為古而後定其地也
因地理之方而為之國其地多少亦皆未定
長崎奉行

遠約由國之難之是行有之故云云其去後寫字源
和國有之古者最為古而後定其地也

要約成之由之也其國之關係也其古者最為古
一決近世之見合之價也其國之關係也其古者最為古

其古者最為古其國之關係也其古者最為古
其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古
其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古

古者最為古其國之關係也其古者最為古

當他國之士其國之關係也其古者最為古
其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古

其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古
其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古
其國之關係也其古者最為古其國之關係也其古者最為古

印

[Faint, mostly illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.]

支商三高子中稅銀高五九任記

一 金三万八千三百五拾五元八下
銀錢八万六千四百九拾五元八下

叶拂

合查分永三拾五元八下
銀錢皆拾五元八下

銀錢出方子百八拾五

宣正月六日在正派立稅
銀之內上增稅之以下也
此中內法下也

和歌漢所并内事監打建
其系人信判拾五元八下
宣正月二日今同字七下
二月述正月八下

銀錢之千五百枚

銀錢之千八百五枚

銀錢之千五百枚

精得銀千五百枚 業運中下
三月十日迄八月分お取
三月十日迄八月分お取

右同封 小座 業運マンスフ
平ルト上海小長崎迄
旅費銀錢五枚 西海
二十子 第八月分二千子
第一月迄七ヶ月分お取

右同封 分拆 新理 所小座
業人カラタラ 維新 西洋
十六日 第三月分二千子
第一月迄七ヶ月分お取

金百五十枚 拾四角五分

永百拾七文下

金四百五十枚 拾四角五分

永百拾七文下

金百五十枚 拾四角五分

永百拾七文下

銀錢之百枚

銀錢之百枚

運上所 業運 入用金
業運 方 役 お取

右同封 業運 入用金
入用金 お取

右同封 建部 下 地上 使用
業運 方 役 お取

港口 船 明 幸 池 代 内 英
島 士 立 初 取 取

債 託 以 在 立 成 功 迄 一 年 一
石 託 借 借 形 同 人 下 取 取

銀錢四百拾七枚

以下四層

金四子五八拾五兩
三分

銀錢三万枚

金壹万七千五百三分系六拾五兩
以下
銀錢六万五千五百拾七枚八下五兩

宣六月初二日
運上所掛役人
當銀錢一十月七拾五兩
刻金を以て六月廿九日合勘方

運上所附石宛
請交負高に
役あり

且自長崎會所
宣六月初二日
當り之出方
振付に

足付

金壹万七千五百拾七兩三分系百拾五兩
以下
銀錢三万五千五百拾七枚八下四層

右に通り
下者に以上

卯三月

金壹万七千五百拾七兩三分系百拾五兩
以下

内
金壹万七千五百拾七兩三分系
以下

外
金四子五八拾五兩

以下

内
金壹万七千五百拾七兩三分系
以下

金壹万八千五百拾九兩三分系五兩
以下

銀錢三万五千五百拾七枚八下四層

銀錢三万五千五百拾七枚八下四層

銀錢三万五千五百拾七枚八下四層

銀錢三万五千五百拾七枚八下四層

正銀錢
ホト上二拾五

九月廿五日
河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏

河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏

河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏

河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏
河上河城領人
高橋氏

加藤重臣印

吉原良左衛門

東條八右衛門

遊歩少尉
河上河城領人
高橋氏

遊歩少尉
河上河城領人
高橋氏

江府の事 後漢書

委細の事情 江府の事 後漢書

か海亦道 後漢書 亦海亦道 後漢書

新我亦浪 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書

溪係無 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書

亦成其 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書

中元博多 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書

新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書
新立の事 亦道海 後漢書 亦海亦道 後漢書

核別骨の頭、いふ事

我々の命、いふ事、我々の命、いふ事

理立、我々の命、いふ事、我々の命、いふ事

之為、大浦川、橋臺、築立、安用、積少、致

之申、或も、依、仕、候、帳、并、候、事、候

此、候、事、向、上

四月

英國ケース、高社、前、以、家園、在、不、以、破、表、

我、至、在、不、輸、出、税、銀、不、是、也、有、日、新、約、

書、第、五、ヶ、条、不、債、以、通、運、且、高、買、自、自、

運、上、を、拂、不、事、有、日、自、

何、建、の、地、合、も、不、玉、買、易、高、買、港、場、運、送、揚、子、

た、是、也、女、有、債、以、通、運、且、高、買、自、自、

人民、方、取、去、得、不、是、上、不、是、港、場、運、送、

△大船中職事ノ又云云云云調ノ如修リ又ニ彼方ニ雇小者ヲ拘テハ趣得

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

依之由自第其調は修り候也

依之由自第其調は修り候也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

御國船中ノ職事ニハ此等ノ修リニハ修リ也

年九月廿九日

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

薩利家小の通書

覚

一 軍艦買入方之條之終之新條約書

其八ヶ條之趣之有之其旨請取海一旨之

後之立合之答之在之立之立之條之其

出帆以之其後之旨之心得之有之其

一 當月八日キヤンスー船出帆之旨之書之勅書

百十七

一 船中ノ船番若留ル交有無ノ挨拶ニ
無ク遠ク直向キ軍艦ニ出帆以テハ
左右船中軍艦ノ無ク交中ニ立テ為
心得ル也

一 右船中ノ指揮者ノ和國人ニ乗組者ノ
右ノ何處ニ命テ連絡セシ儀有之也

一 右ノ如キ結果ヲ取ルニ森田助長ハ役所
無出ル様ニ進出シ交中ノ挨拶以テハ
為シ心得有之也

右ノ條ニ下札其ノ事ニ之中少シ上

卯上月

新伊条約書第八條各港ありて亦亦船
 賣買之節、其船賣買之節、其船賣買之節、
 三片、帆、船、三、日、以、自、同、三、片、三、日、者、
 以、積、所、揚、裁、者、之、右、之、其、船、賣、買、之、節、者、出
 以、織、与、本、存、以、得、其、右、之、方、彼、我、之、各、別
 對、此、五、條、三、条、以、付、昨、年、中、各、五、五、五、五、

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百）

官令各事申入至其後之法在在得之何令
當地限之及定仕之罪之趣付和國奉行
河合之知者大軍艦奉行其趣之品之
當時同所之洞中之趣換投中載之
和之知者港之役之諸事ありて買入船
毎之有之自然和之入方其出之方以

治定其成之節陶國あり者も出来之方
進之趣引其成之方之史之而於合之役也
以之趣引其成之方之史之而於合之役也
右之趣引其成之方之史之而於合之役也
成下彼我治定之史之知其趣引其成之方之史之而於合之役也
存存



御印

新嘉坡海峽殖民地政府

秘書處

總辦

新加坡

一九二二年



